

## 会 議 録

会議名		燕市健康づくり推進委員会		
事務局		健康福祉部健康づくり課		
開催日時		平成29年2月9日（木） 午後1時30分から午後3時00分		
開催場所		燕市役所 会議室301		
出席者	委員	甲田委員、高井委員、外石委員（欠席）、武藤委員、捧委員、柴山委員、上之山委員、高畑委員、玉木委員（欠席）、中川委員、捧委員、川瀬委員、田村委員、大滝委員、田中委員（欠席）、丸山委員、櫻井委員、亀倉委員、込山委員		
	事務局等	健康福祉部：小林部長、金子副部長／健康づくり課：佐藤課長、丸山副主幹、南波補佐、細貝副参事、五十嵐副参事、篠田副参事、大西係長、河合専門員、佐藤主査／保険年金課：桑原補佐		
公開可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合はその理由				
次第		<p>1 開会 佐藤課長</p> <p>2 あいさつ 柴山会長</p> <p>3 議 題</p> <p>（1）平成28年度燕市健康増進計画の進捗状況について</p> <p>（2）平成28年度燕市食育推進計画の進捗状況について</p> <p>（3）元気生活チェック調査について</p> <p>（4）その他</p> <p>4 閉会 小林部長</p>		

## 平成28年度第2回燕市健康づくり推進委員会 会議録要旨

平成29年2月9日（木）

午後1時30分から3時00分

市役所：会議室301

課長

開会前ではありますが、初めに資料のご確認をお願いいたします。

本日机上に配布させていただきました資料は、次第、裏面が委員名簿となっております。あと座席表と当委員会の規程となっております。それから事前に配布させていただきました資料1～5となっております。

資料のない方がいられましたら、お声かけいただきたいと思います。

課長

皆さまこんにちは。健康づくり課長の佐藤です。

定刻になりましたので、平成28年度第2回燕市健康づくり推進委員会を開催させていただきます。

委員の皆さまにおかれましては、ご多忙のところお集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃より燕市の健康づくり事業には多大なるご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。

本日の出席委員は16人であり本委員会が成立することを報告します。

外石委員、玉木委員、田中委員の3名の委員から事前に欠席の連絡をいただいております。

なお、本日の議題につきまして、資料配布の際にご案内させていただきましたが、第2次燕市食育推進計画（案）につきましては、今後、3月議会で協議いただき、確定した段階で皆さまには配布させていただきます。

本日は、平成28年度燕市食育推進計画の進捗状況と変更させていただきましたので、よろしく願いいたします。

それでは、次第の2、柴山会長より挨拶をいただきます。

会長

皆さまこんにちは。

時節柄たいへん寒い中、また多数の方々からお集まり頂きましたことを感謝申し上げます。例年であると、ここから窓を見ますと白くなっているのが普通であります。春がもうそこまで来ているという感じがしますが、しかしながらまだ2月の上旬ですから、もう一度は除雪車が出動することは覚悟しておかなければならないのかなと思

っております。私の記憶のなかでは、3月の半ばで30センチメートルも降ったことがありますので、まだ油断はできませんが、いつ降られてもいいように準備をお願いできればと思います。いまほど佐藤課長からお話があったとおり、今日の議題は、お手元の資料にそって進めてまいります。皆様の忌憚のないご意見等を賜りながら、概ね3時には終了したいと思っておりますので、皆さまの特段のご協力をお願いしてあいさつとさせていただきます。

課長

ありがとうございました。

それでは、委員会規程第6条に基づき会長が議長となると定められておりますので、これからの議事進行を会長よりお願いいたします。

議長

それでは、さっそく、議事にはいらさせていただきます。議題の(1)「平成28年度燕市健康増進計画の進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

資料1に基づいて説明

議長

ありがとうございました。

ここまでの報告について、委員の皆さまからご質問・ご意見がございましたら、挙手をお願いします。

委員

こども手帳について、今年度から小学校1、2年生に導入されましたので、やってみての、養護教諭の先生方からのご意見をお伝えしたいと思います。

カラフルでかわいい手帳で、賞品としてノートをいただき、こどもたちはたいへん喜んで取り組んでおりました。ただ学校の方でも早寝早起きと朝ごはんなど、すでに取り組んでいましたので、その項目が重なっているということと、希望者だけで全児童対象ではないので、やはり学校でやるよりも、まずは未就学児のお子さんたちにやった方がいいのではないかというご意見がありました。

もうすでに小学校にはいる段階では、ある程度生活習慣ができあがっておりますし、最近の親子さんは、遅くまで自分の生活ペースで、子どもたちを連れてファミレスにいったりとか、朝は寝ていたほうが家事がはかどるので、起きるまで起こさないとか

のお子さんがあると聞いています。三つ子の魂百までではないですが、小さいうちからの生活習慣の確立が大切だと思いますし、親子で取り組むことを目標にするのであれば、小さい段階で親子で取り組んで頂いた方が、より効果的に燕市の子どもたちの健康推進になっていくのではないかというご意見がありました。

乳幼児検診などの機会がありますので、その時に手帳を紹介していただいて、ぜひ親子で取り組むような活動をしていただければいいかなと思います。

学年を拡充するという事なんですが、小学校に入りますと社会体育に参加しているお子さんが多くて、うちの学校でも早寝早起きについて取り組んでいるんですけども、どうしても1年生でも帰宅が午後10時になるお子さんがいまして、聞いてみると社会体育のスポーツが午後9時30分までで、家に帰ってきてお風呂に入って寝ると、どうしても午後10時過ぎになってしまう、小学校では、一応目標を午後9時にして、早寝早起きに取り組んでいるんですけども、なかなか社会体育の壁がありまして思うようにいかないところが現状であります。もし小学校でまた継続していくのであれば、健康づくり課だけでなく社会体育の方にも働きかけていただいて、たとえば小学校1、2年生のスポーツ活動は午後8時30分までですとか、燕市である程度、規程を作っていただいて、子どもの睡眠確保などにも取り組んで頂けたらなというのが感想でございます。ぜひ来年度に向けてご検討いただきたいと思います。

議長

ありがとうございました。

事務局からなにかありましたらお願いいたします。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。今年度につきましては、保育園、幼稚園、子ども園、小学校の先生方の多大なるご協力をいただきまして、実施することができまして、ほんとにありがたく思っております。こども手帳の導入につきましては、委員がおしゃってましたけれども、子どもの生活習慣の確立というねらいとともに、親世代にも取り組んで頂きたいという担当課としての思いもございました。子どもの生活習慣を考えるきっかけに、ぜひしたいと思っております。なかなか働いている保護者の方が多いなかで、一人でも記入できる年代ということで、小学校のお子さんを対象に現在、検討を加えているところでございます。ただ、いまもお話がありましたように、私どもも乳幼児検診のなかで、保護者の話を聞いておりますと、1歳代のうちから食習慣に関しての指導が必要な子どもが多々いらっしゃいます。乳幼児検診におきましても保護者の方に、ウェブでの取り組みをPRしているところでございますが、ポイント手帳につきましては、年代を特に限っておりませんので、ぜひ親子でポイント手帳に取り組むことで、あわせて推進していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。

委員、これに関してはよろしいでしょうか。

他にご意見はございませんでしょうか。

委員

社会体育との連携も、子どもの生活習慣の確立ために、ぜひ連携をとっていただいて、子どものふさわしい睡眠時間とか、やはり適正なスポーツ活動なども、ぜひ燕市として取り組んでいただけたらと思っています。他県では市ぐるみで、睡眠確保のために協力してやっている県もあると聞いていますので、特に燕市は教育立市宣言もありますので、そこらへんも考えていただけたらと思います。以上です。

議長

ありがとうございました。

他にご意見はございませんでしょうか。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。

こども手帳の学校での取り組みにつきましては、現在、教育委員会と検討させていただいているところでございます。どういった形で取り組んでいったらいいのか課題がいくつかあると思いますし、さらに社会教育、社会体育との連携も当然必要となってくるかと思っております。この事業は、今後さらに、来年、再来年と計画しております。その過程のなかで、来年、どれほど反映できるか確約はできませんけれども、皆さまからのご意見を生かしながら、いろんなところと連携をとりながら、この事業を進めていきたいと思っております。今後ともご意見をお願いしたいと思っております。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。

他にご意見はございませんでしょうか。

事務局

社会体育のお話がでましたので、体育協会の会長さんのまえで失礼ですが、実は前の職場で社会体育の関係にかかわっております。教育委員会サイドでも、また学校のほうからもお話がございまして、スポーツ少年団の会長さんのほうから時間の関係

についての話がありました。自分たちの気持ち、保護者の気持ち、指導者の気持ちとかあると思いますけれども、おっしゃるとおり睡眠の確保が大切であるということで、スポーツ少年団のほうからお話をだしていただいた経緯もあり連携をとってはおりますが、さらにまた関係課と連携をとりながらお話をさせていただきたいと思っております。

議長

ありがとうございました。

他にご意見はございませんでしょうか。

委員

1ページの28年度の取り組み及び成果のところ、前年度の元気がやきポイントの手帳の登録者が、かえって多いような書き方になっていますが、特定健診のときだけでも1,000人登録したということなのか、それとも28年度は前年度より増えているのか、前年度は6,349人になっているのに、この文面では5,000人になっている、下がっているような感じがしますがいかがでしょうか。

事務局

適切な質問ありがとうございます。

いまおっしゃられましたとおり、特定健診会場での登録が5,000人ということで、すいません大事な情報が落ちていました。1月31日現在で、登録者全体といたしましては8,892人になっております。そのうち内訳としてウェブで取り組んでいる方が459人ということで前年度よりも増えております。

議長

ありがとうございました。

他にご意見はございませんでしょうか。

委員

いま委員の方から言われたことなんですけれども、わたしも最近、吉田小学校のあるスポーツなんです、9時30分に終わるという話を聞いたんですね。それを聞いたときに家族はたいへんだねって言ったときに、「そうなんだて。」と聞いていたんですが、中身を聞くと親子でやっており、親子のふれあいも兼ねているんだなと思いました。子どもは早く寝ることが大事なんだな、脳を休ませることは一日の脳の整理ができるのではないかと思います。そういったスポーツ関係については、親の気持ちも

わかりますけれど、これからの子どもたちですので、ある程度市からの助言も大事になってくるので、委員が言われたように、そういった声をスポーツ関係者の方に声をだしていってもらいたいと思います。

議長

よーく申し上げておきます。

それから管理者としても、あんまり遅くまでやりたくないですね。そういった苦情が、直接私たちのところに来るんですね。それと指導者の問題もございまして、仕事が終わってからでないと指導ができないということで、スタート時刻が遅いという一面もございまして。小学校であれば、5時くらいからでもかまわないんですけども、指導者がいないんですね。ただ、いま言われている眠育ということでの話はたくさん出ておりますので、機会を通じながら、社会体育とか、教育委員会と毎月、会議を開いておりますので、そのなかで時間の在り方について、また進めてまいりたいと思います。これは、議長ではなく体育協会の会長としてそのように考えております。

他に委員の皆さま、ございませんでしょうか。

時間の関係もございまして、次の(2) うつつてよろしいでしょうか。  
反対がありませんので、(2)の説明を事務局お願いいたします。

事務局

資料2に基づいて説明

議長

ありがとうございました。

ここまでの報告について、委員の皆さまからご質問・ご意見がございましたら、挙手をお願いします。

委員

去年の会議の時にも同じことを聞いたのですが、A、B、Cの評価のところですが、AとBの違いはなんなんだろうということで。一覧表を見るとほとんどAになっているが、長寿福祉課など昨年も今年も、たぶんその前もBのところはBとなっているが、それぞれの担当の主観で評価をしていると。評価をみると、Aは確実に実行した、Bは完全ではないが実行したとなっている。長寿福祉課は、完全ではないということでBにされていると思いますが、どちらにしてもAもBもやったという評価になっている。ここで差をつける意味が何かあるのかなど。通常であればAになることを全部目

指してやるわけで、Bという評価をしていることは、悪いということになるわけで、明らかな差がないのであれば、今後、計画を作り直すということですので、評価項目の見直しも必要になるのではないかと思います。今後の検討ということでかまいませんので意見を述べさせていただきました。

事務局

ご意見ありがとうございました。

この計画の評価につきましては、来年度、第2次食育推進計画を実施する際におきまして、また検討して評価の基準を考えていきたいと思えます。

議長

委員さん、これでよろしいでしょうか。去年と同じ回答になってしまいましたが、ほかにございませんか。

なければ、議題の(3)にうつらせていただきます。

事務局からの説明をお願いいたします。

事務局

資料3、4、5に基づいて説明。

議長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆さま方からの質問をお願いいたします。

委員

ひとつご質問を申し上げます。

「仲間・人間関係」が、著しく燕市は問題があるという調査結果ですが、この調査は他の市町村もやっておられるのですか。地区組織、非常に志のある方においても「仲間・人間関係」がへこんでいるように見えますが、燕市だけが悪いのか、新潟県全般的にこういった傾向なのかお聞かせください。

事務局

この元気調査チェック調査につきましては、まだ全国的に実施されているわけではなく、なかなか元気増進軸を調査するところがなく、今回の全国平均というものがどれくらいの数を比べているのかといいますと、新潟県、京都府、広島県、香川県、佐

賀県のそれぞれ5県、1ヶ所ずつ10,000人を対象に実施しておりまして、すべての市町村を比較しているものではないということをご了解していただきたいと思  
います。

委員

何か東日本がすごく悪いとかと言う傾向、比較はあるんですか。

事務局

そういったことは、いまのところ調査機関からは報告は受けておりません。

議長

ありがとうございました。

ほかに何かありますか。

ほかに無いようでありますから、この議案について終結して、つぎのその他に移り  
ます。よろしいでしょうか。これは事務局のほうへおまかせいたします。

事務局

とくにありません。

議長

それでは委員の皆さんの方で、この議題以外のその他ということで、なにかご意見  
がありましたらよろしく願います。

委員

それではひとつ質問をお願いします。

元気がき隊についてですが、燕市にとって特徴的なもので、メタボが多いとか  
あるポイントに達すると、なにか頂けるといふ制度なのでしょうか、たとえば提案な  
んですが階級といいますか、ステイタスといいますか、たとえば長野県において、食  
育改善委員というのは県が認定するというものなんですが、県民の4人に一人が食育、  
減塩を予防するような指導免許をもっているとお聞きしたんですが、元気がき隊も、  
元気がき隊隊長とか特攻隊長とか、そういった免許とか作って少しでも増やしてい  
って、それこそ4人に一人ぐらいは特攻隊長ぐらいになれば、またうまくいくんでは  
ないかという気がするんですが、ほんのひとつの提案といいますか、感想でございま  
す。

議長

ありがとうございました。  
他にございませんでしょうか。

事務局

ご意見どうもありがとうございました。  
現在、健康づくりマイストーリー運動の元気かがやきポイント事業のなかでは、取り組んで頂いて、ある程度一定の基準を満たした方については健康ウォーキングマイスターということで認定させていただいております。元気がき隊につきましては、みなさんが、主体性をもって、自分たちで率先して活動してもらっているということで、特別なものは用意していなかったわけですが、委員さんのなかにも元気がき隊の方もいらっしゃいますので、さらに活動をよりよいものにしていくために、どういったものがあればよいかというところも、先生のご意見をお聞きしながら、みんなで一緒になって協議をしていきながら、市民協働ですので、いろんなご意見を出し合いながら進めていければなと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。  
最後に、他になければこれにて閉会にしたいと思います。

委員

ひとつ質問をお願いします。  
資料1の3ページに、胃がんリスク検診について記載されておりますが、これは2年前に聞いたものですが、導入して5歳刻みなもので、5年間は最低実施されることになるのだと思いますが、この胃がんリスク検診については県内で実施しているところは2ヶ所くらいだと思うのですが、やることによる評価をどうするのかということ、あらかじめ考えておかないと、5年たったときに、どうだったかというのがわからなくなってしまい、胃がん検診については受診率が低いということで、はじめた経緯があると思いますが、当然、受診率が上がっていけば、がんの発見率も上がっていくバリウム検査を受けるからなので、胃がんリスク検診が、そく早期の胃がんを見つけるというわけではないので、そういった関連性をしっかりと見て行って、医療費がどうだとか精密検査がどんどん増えて行くので、医療費がどうだとか、最終的に死亡する方が減ったんだという、こういうところを見て行かないと、導入する以上は、最後には評価をしていかないといけないので、5年先を考えていくとよろしいと思っておりますので、その辺を今から考えていってほしいと思います。

議長

はい、ありがとうございました。  
ご意見の趣旨はわかりますよね。

事務局

ご意見どうもありがとうございました。  
委員のおっしゃられるとおりで、評価とういものは大事なことでと思います。  
健康づくり課が、来年度実施します胃がんリスク検診に先立ちまして国保を主管しております保険年金課のほうでも評価を十分考えて取り組んでいるところでございますので、担当課としましても協議をしながら評価の方を進めてまいりたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

議長

はい、それではこれにて本日の会議を終了したいと思います。  
委員の皆さま、たいへん長い時間にわたりまして、また貴重なご意見ありがとうございました。これに懲りず次回の案内のときも、よろこんで参加、ご出席くださるようお願いいたします。たいへんどうもありがとうございました。

事務局

柴山会長、たいへんどうもありがとうございました。  
会長からしめていただきましたが、本日、小林健康福祉部長が出席しておりますので、小林部長から一言お話をさせていただきたいと思っております。

部長

せっかく柴山会長からしめていただきましたが恐れ入ります。  
今日は、委員のみなさまからご熱心に活発なご意見をいただきありがとうございました。

さきほど健康増進計画のところで子どもたちの睡眠の確保がたいへんですねというお話がありました。これにつきましては、関係課と話し合いをしまして、また関係機関と連携した取り組みができればと考えております。

また、元気生活チェック調査の関係では、燕市特有の「仲間・人間関係」のところが、ちょっと弱いという傾向が出てまいりました。これらも踏まえて、来年度策定する健康増進計画のなかに、どのように反映させることができるのか、みなさまのお力をお借りしながら、策定を進めさせていただければと思っております。委員のみなさまには、今後とも市民の健康づくりの推進につきまして、市の保険事業のご協力をお願いしまして、本日の閉会のあいさつとさせていただきます。本日はたいへんどうもありがとうございました。